

# Book Review



歯科技工別冊

## invisible 先端審美補綴フォトガイド 天然歯と調和するセラミックス補綴の臨床と技工

Sidney Kina, August Bruguera 著  
新谷明一 訳編

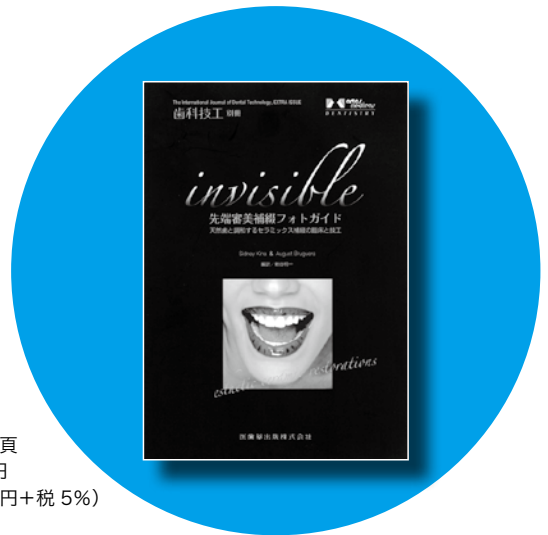


Reviewer

近藤隆一

(東京都・DENT-O-ZONE 近藤歯科)

A4判, 176頁  
定価 5,670円  
(本体 5,400円+税 5%)  
医歯薬出版刊



Invisible を直訳すれば「見えない」という意味になるが、歯科治療において言い換えると「究極の審美に到達するためのテクニック」ともいうことができ、本書にはその治療のゴールと設計図が開示されている。

Invisible を最も効果的に利用しているのはマジシャンで、観客を驚かせるために、実証を繰り返したさまざまなネタを仕込み、目の錯覚や心理学までもを応用して感動を引きだしている。マジックは、一瞬の拍手喝采のために、マジシャンの英知やその歴史を見えない部分に集約する高度なパフォーマンスなのである。

歯科医師の治療もマジックとまでは言わないまでも、審美を追求するためには、あらゆるベーシックな知識を基にして、最大のパフォーマンスが得られるように取捨選択と組み合わせを検討する必要がある。そして究極の審美治療は、一目で「お金をかけて治療しました」とわかるような結果の提示で

はなく、「見破れない」という本書の設定どおり、テクニックを駆使してスーパーナチュラルな状態を創り出す目的で実行されるものだ。たとえば、第三者に「どこで治療したのだろう」と想像させるような治療とは対極に位置する、「きれいな歯に生まれて羨ましい」と思わせるような状態にすることが理想である。しかも、治療においては、侵襲を抑えることが求められるだけでなく、対象は百人百様であることから、定型処理は皆無といえる。したがって、一人ひとりの個性にマッチするように、診断からゴールに至るルートを決定できるレベルにまで到達するには、長期にわたる自己学習と、豊富な臨床経験が求められる。

本書は、「よくここまで調べつくした」といえる集大成で、多くの情報が必要よくまとめられており、必要な情報を短時間で得ることができる。そして、誌面構成も写真を多用し、飽きずに最後まで読ませるように工夫を凝ら

している。また、Chapter 1 の付録資料「天然歯 100 例」では、100 枚の天然歯の写真が添付されているが、この素材は歯科技工士とのコミュニケーションに役立つだけでなく、治療の目標を設定するうえでのガイドラインともなりうる。自分の症例を「ミラクルと思わせる」ための要素を学べる本書は、究極のゴールに至る道をわかりやすく解説しているガイドブックでもあり、素直に翻訳された日本語からストレートに内容が伝わってくる点も好ましい。

最後に、ワンポイントでコメントすると「コストパフォーマンスに優れた 1 冊」。価格設定には編集担当者の思いも反映されていると思われ、ドクター向けには「一人一冊」、仕事を依頼する技工所向けには「手元に置いて」と提案しやすいような手頃な価格に抑えられている。ともあれ、本書はビギナーからエキスパートまでが学べる学習書といえる。